第2次新きさらづ障害者プラン　基本計画進捗状況
第1章：みんなが理解し合えるまちづくり

| | 施策・事業 | 施策の概要 | 実施部署及び<br>連携機関 | 平成24年度<br>実施状況 | 平成25年度<br>実施状況 | 平成26年度<br>実施状況 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1．理解を深める活動の推進 | ①広報活動（情報提供）の充実 | ○市民がわかりやすく、理解しやすい「広報活動（情報提供）に心掛けます。<br>○市のホームページ（インターネット）を活用した障害者福祉に関する情報提供を行います。<br>○「市議会だより」（福祉施策）をわかりやすく解説した内容での作成・配布に努めます。 | 障害福祉課<br>秘書課<br>議会事務局 | ○ホームページでのページ作成では、写真・イラストを多用するなどユーザビリティ・アクセシビリティに考慮したページ作りを促進しました。（秘書課）<br>○年4回発行する「市議会だより」を音声録音し、議会の情報提供に努めました。（議会事務局）<br>○朗読の会「しおさい」による「広報きさらづ」を音声録音したテープ及びCDの貸し出しにより、情報提供を行ないました。（１人１２回）（障害福祉課） | ○朗読の会「しおさい」による「広報きさらづ」を音声録音したCDの貸し出しにより、情報提供を行ないました。（１人１２回）（障害福祉課）<br>○年4回発行する「市議会だより」を音声録音し、議会の情報提供に努めました。（議会事務局）<br>○ホームページでは、ユーザビリティ、アクセシビリティを考慮したページ作りを継続し、ウェブサイトクオリティ評価の上昇につながっています。<br>○「広報きさらづ」音声CDを視覚障害者の方へお届けしています。 | ○ホームページの見直しを行いました。（障害福祉課）<br>○年4回発行する「市議会だより」を音声録音し、音声CDを視覚障害者の方へお届けするとともに、その音声データをホームページ上に掲載して、議会の情報提供に努めました。（議会事務局）<br>○ホームページでは、引き続きユーザビリティ、アクセシビリティに考慮したページ作りに努めました。（秘書課）<br>○「広報きさらづ」音声CDを毎月作成し、視覚障害者の方へお届けしています。（秘書課） |
| | ②資料（情報）の収集・作成 | ○多様化する障害に関する様々な情報について、収集・作成等を実施します。 | 障害福祉課 | ○関係機関から送られてくる情報や案内は、随時、窓口に掲示・配布した他、イベント・セミナー情報は地域自立支援協議会のホームページに掲載しました。 | ○関係機関から送られてくる情報や案内は、随時、窓口に掲示・配布した（障害福祉課）. | ○「そうだんの木」支援者版を作成しました。（障害福祉 |
| | ③「障害者週間」「人権週間」活動の充実 | ○「障害者週間」「人権週間」に合わせ、市民が理解し合える活動を実施します。 | 障害福祉課<br>市民活動支援課 | ○障害者週間の期間中、市内の障害福祉施設15施設を一般公開し、広報きさらづやチラシ、ホームページでも告知したところ、延べ138人の見学がありました。（障害福祉課）<br>○人権週間の期間中、人権・行政合同特設相談を行った。相談件数　93件（市民生活課） | ○障害者週間の期間中、市内の障害福祉施設15施設を一般公開し、広報きさらづやチラシ、ホームページでも告知したところ、延べ118人の見学がありました。（障害福祉課）<br>○人権週間の期間中、人権・行政合同特設相談を行った。相談件数(12月末現在)　６１件（市民生活課） | ○障害者週間の期間中、市内の障害福祉施設15施設を一般公開し、広報きさらづやチラシ、ホームページでも告知したところ、延べ100人の見学がありました。（障害福祉課）<br>○人権週間の期間中、人権・行政合同特設相談を行いました。26年度相談件数(12月末現在)　６３件（市民活動支援課） |
| | ④関係団体による推進活動の充実 | ○障害者関係団体等によるわかりやすく、誰もが理解し合える推進活動を支援します。 | 障害福祉課 | ○障害者関係団体4団体へ運営補助金の交付を行いました。 | ○継続実施 | ○継続実施 |
| | ⑤地域自立支援協議会の広報活動の充実 | ○自立支援協議会ホームページ（インターネット）の充実を図り情報提供を実施します。 | 地域自立支援協議会<br>障害福祉課 | ○市から業務委託を行い、随時更新を行った。特に、障害者週間の告知やイベント・セミナー情報の更新に力を入れました。<br>○地域自立支援協議会のキャラクターが市制70周年を機に、木更津市の公式キャラクターに昇格し「きさポン」と名付けられ、多くのイベント等に参加しました。 | ○継続実施 | ○継続実施 |
| 2．福祉教育の充実 | ①学校等における福祉教育の推進 | ○教育機関における福祉教育を継続的に行います。<br>○学校職員などに対する福祉への理解・啓発機会の充実を図ります。 | 学校教育課 | ○総合的な学習の時間等を利用し、アイマスクや車いす体験、障害者による教育講習会を実施することで、福祉への理解・啓発を図りました。<br>○市主催の夏季教職員研修に、特別支援教育に関係の講座（2講座）を設け、発達障害・LD・通常学級における特別支援教育等について研修を行いました。 | ○福祉体験学習の実施、地区敬老会等の地域行事への参加、福祉に関する教育講演会の開催などの取組を通じて福祉への理解、啓発を図りました。<br>○市主催の夏季教職員研修に、特別支援教育に関係の講座（3講座）を設け、発達障害・LD・通常学級における特別支援教育等について研修を行いました。 | ○福祉体験学習の実施、地区敬老会等の地域行事への参加、福祉に関する教育講演会の開催などの取組を通じて福祉への理解、啓発を図りました。<br>○市主催の夏季教職員研修に、特別支援教育に関係の講座（3講座）を設け、発達障害・LD・通常学級における特別支援教育等について研修を行いました。 |
| | ②社会教育等における人権や障害者問題の学習機会の充実 | ○社会教育を通じた人権や障害者理解・障害者問題に関する学習機会（公民館等の利用）の充実を図ります。<br>○人権啓発事業の充実を図ります。<br>○障害のある人の支援に必要な福祉サービスの促進を図ります。？ | 生涯学習課<br>市民活動支援課<br>障害福祉課 | ○木更津こどもまつりで、人権啓発資料の配布（500部）を行いました。（市民生活課）<br>○木更津市社会人権教育研修会を実施しました。（年1回）<br>「子どもの人権について考える」48人参加　（生涯学習課）<br>○「障害者週間」に合わせ施設開放を行ないました。（地域自立支援協議会）<br>○虐待防止センターを設置し、広報等で広く周知しました。（障害福祉課） | ○発達障害の子どもを持つ保護者を対象に療育支援事業を開催（全5回）生涯学習課<br>○「障害者週間」に合わせ施設開放を行ないました。<br>○自立支援協議会の権利擁護部会で勉強会を実施しました。（障害福祉課）<br>○木更津こどもまつりで、人権啓発資料の配布（500部）を行いました。（市民生活課）<br>○木更津市社会人権教育研修会を実施しました（年1回）<br>「子どもの人権について考える　～いじめ問題を中心に～」　32人参加（生涯学習課） | ○ヒューマンフェスタ・福祉まつりで、人権啓発チラシの配布（2000部）を行いました。（障害福祉課）<br>○発達障がいの子どもを持つ保護者を中心に、準備会（4回）を行った後、学習講座を開催（5回）生涯学習課<br>○木更津市社会人権教育研修会を実施します（年1回）生涯学習課<br>○木更津こどもまつりで、人権啓発資料の配布（500部）を行いました。（市民活動支援課）<br>○福祉体験学習ハンドブック（指導要領も含む）を平成二十六年度作成した。<br>○小学校15校、中学校（私立含む）6校での福祉体験学習にボランティアを派遣し指導を行った。（社会福祉協議会） |
| 3．交流・ふ | ①地域活動における日常的な交流の充実 | ○日頃から、近所や地域の中でお互いに交流ができるように、行政や各種団体は様々な行事の企画を支援します。障害のある人が困った時には、小さなことでも相談できる民生委員・児童委員を紹介します。 | 社会福祉課<br>（行事のバックアップ）<br>各自治会<br>（交流の促進）<br>各種相談機関 | ○来庁者及び電話での相談や問い合わせに対し、地元の区長さんや担当課に取次ぎを行いました。（市民生活課）<br>○関係行事の後援等、バックアップを行いました。（社会福祉課） | ○関係行事の後援等、バックアップを行いました。（社会福祉課） | ○関係行事の後援等、バックアップを行いました。（社会福祉課） |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| れあいの拡充 | ②障害のある人の社会参加促進 | ○各種の交流活動・事業の主催団体に対し、情報保障の推進を行います。<br>○各種の交流活動・事業への介助者や手話通訳者などの配置などに対する支援を行います。<br>○各種の交流活動・事業の開催において、様々な広報活動をし、障害のある方へも情報が伝わるようにします。 | 障害福祉課<br>地域自立支援協議会 | ○地域自立支援協議会のホームページなどを利用し情報の発信を行いました。<br>○コミュニケーション支援事業等を通じ133回手話通訳者の派遣を行なっています。（平成24年11月末現在） | ○コミュニケーション支援事業等を通じ124回手話通訳者の派遣を行なっています。（平成26年2月末現在） | ○コミュニケーション支援事業等を通じ　130回手話通訳者の派遣を行なっています。（平成27年2月末現在） |
| | ③交流活動への支援の充実 | ○開催場所や開催に係る助言アドバイスなど障害者団体や地域などによる交流活動への支援を行います。<br>○ボランティア参加の窓口を明確にし、市民等に対し、周知活動を行います。 | 障害福祉課<br>社会福祉課<br>地域自立支援協議会<br>社会福祉協議会 | ○各障害者団体の紹介や参加を促し、活動の支援を行いました。（社会福祉協議会）<br>○社協ボランティアコーディネーターを窓口に配置し、ボランティアの参加と要請を調整しました。（社会福祉協議会）<br>○四市スポーツ大会を実施し、障害者及び健常者との交流を深めました。（障害福祉課） | ○四市スポーツ大会を実施し、障害者及び健常者との交流を深めました。（障害福祉課）<br>○各障害者団体の紹介や参加を促し、活動の支援を行いました。（社会福祉協議会）<br>○社協ボランティアコーディネーターを窓口に配置し、ボランティアの参加と要請を調整しました。（社会福祉協議会） | ○社協ボランティアコーディネーターを窓口に配置し、ボランティアの参加と要請を調整しました。（社会福祉協議会）<br>○各障害者団体の紹介や参加を促し、活動の支援を行いました。（社会福祉協議会） |
| ４．ボランティア活動やＮＰＯ活動の推進 | ①ボランティア・NPO活動に関する情報提供の充実 | ○市や社会福祉協議会の広報など多様な媒体を活用し、ボランティア・NPO活動に関する市民への情報提供の充実を図ります。 | 障害福祉課<br>市民活動支援課 | ○来庁者及び電話での問い合わせに対し、情報提供を行いました。（市民生活課）<br>○情報提供及びコーディネートを行ないました。（障害福祉課） | ○庁舎1階の障害福祉課通路にポスター等を啓示しました。（障害福祉課） | ○来庁者及び電話での問い合わせに対し、情報提供を行いました。また、市民活動支援センター設置準備を行いました。（市民活動支援課） |
| | ②市民各層のボランティア活動への参加促進 | ○市民各層のボランティア活動・NPO活動への参加を図るために、課題別のボランティア養成講座やボランティア体験の機会の充実を図ります。<br>○ボランティア活動希望者の登録や調整、組織化を支援します。 | 障害福祉課 | ○職場体験（ぷれジョブ）の実施にあたり、ボランティア活動希望者の登録・調整を行いました。 | ○社会福祉協議会と共催でボランティア活動支援を実施。 | ○自立支援協議会企業開拓班プレジョブサポーターを募集 |
| | ③障害のある人のボランティア活動（ピア・サポート活動）の参加促進 | ○障害のある人自らが同じ立場で障害のある人を支援するボランティア活動（ピア・サポート活動）の支援を行います。 | 障害福祉課 | ○未実施 | 自立支援協議会（啓発交流部会）で市内のピアサポート団体に対し、アンケートを実施。 | ○自立支援協議会就労生活支援部会余暇検討班において当事者のサークルを調査し今後広報します。 |
| | ④ボランティア・NPO活動の活性化 | ○社会福祉協議会ボランティアセンターの育成機能や調整機能の充実を促進します。<br>○今後、支援が求められる障害のある人々に、より充実したボランティア・NPO活動を推進します。<br>○ボランティアやNPO相互の交流・課題共有の機会の充実とネットワーク化を促進します。 | 社会福祉課<br>障害福祉課 | ○情報がボランティアセンターに集中するように調整し、センターの機能強化の支援を行いました。<br>○障害者団体間の情報共有を図り、各団体の活動強化を支援しました。 | ○プレジョブ活動に対して、社会福祉協議会のボランティア補助金を適用しました。（障害福祉課）<br>○情報がボランティアセンターに集中するように調整し、センターの機能強化の支援を行いました。（社会福祉課） | ○情報がボランティアセンターに集中するように調整し、センターの機能強化の支援を行いました。（社会福祉課） |
| ５．基盤づくりの推進 | ①地域の見守り・助け合い・支え合い活動等小地域での福祉活動の促進 | ○地域の住民、民生委員・児童委員・社会福祉協議会、自治会などによる小地域単位での福祉活動の充実とネットワーク化を図ります。<br>○心のバリアフリーを図るため交流やふれあいの機会を増やします。<br>○地域ぐるみの防災・防犯体制の充実に取り組<br>み、災害等の非常時にすばやく対応できるように関係機関のネットワークを強化します。 | 社会福祉課<br>障害福祉課<br>健康推進課<br><br>市民活動支援課<br>総務行革課 | ○小地域単位での福祉活動の充実とネットワーク化を図るため、木更津市社会福祉協議会が、第2期木更津市地域福祉計画(平成24～28年度)に基づく実施計画である次期地域福祉活動計画を策定中です。（社会福祉課）<br>○地域の自主防犯団体に対し、防犯支援物資の配布を行い、防犯団体組織の普及・活動促進を行いました。（市民生活課）<br>○「ぷれジョブ」を実施し、地域における「サポート企業」やジョブサポーター等に対して、障害のある子どもへの理解を深めました。（障害福祉課） | ○自立支援協議会の相談連携部会が15地区民協に出席して相談機関の紹介をいたしました。（障害福祉課）<br>○地域の自主防犯団体に対し、防犯支援物資の配布を行い、防犯団体組織の普及・活動促進を行いました。（市民生活課）<br>○小地域単位での福祉活動の充実とネットワーク化を図るため、第2期木更津市地域福祉計画（平成24～28年度）に基づき、より具体化した「第2次木更津市地域福祉活動計画」（平成25～28年度）を社会福祉協議会において策定を完了しました。誰もがより良く生きることが出来る住み良いまちづくりを推進してまいります。（社会福祉課）<br>○自主防災組織等へ防災訓練・防災講話・視察研修を行ない防災体制の充実と強化を図りました。また、今年度地域防災計画の変更に伴い関係機関との連携について再確認を図りました。（総務行革課）<br>○訪問・面接・電話等での相談を通じて、必要に応じ地域の関係機関につなげ支援しています。（健康推進課） | ○地域の自主防犯団体に対し、防犯支援物資の配布を行い、防犯団体組織の普及・活動促進を行いました。（市民活動支援課）<br>○小地域単位での福祉活動の充実とネットワーク化を図るため、第2期木更津市地域福祉計画（平成24～28年度）、より具体化した「第2次木更津市地域福祉活動計画」（平成25～28年度）に基づき誰もがより良く生きることが出来る住み良いまちづくりを引き続き推進してまいります。（社会福祉課）<br>○自主防災組織等へ防災訓練・防災講話・視察研修を行ない防災体制の充実と強化を図りました。また、自主防災組織新設に向けて、自治会と打合せを行いました。（総務行革課）<br>○訪問・面接・電話等での相談を通じて、必要に応じ地域の 関係機関に情報を伝え、支援しています。（健康推進課）<br>○自主防災組織新設に向けて、自治会と打合せを行いました。（障害福祉課） |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | ②市民、事業者、ボランティア・NPOなどの連携強化 | ○市民、事業者、医療、ボランティア・NPO及び市・社会福祉協議会などの連携、協力による地域福祉活動を推進します。 | 社会福祉課<br>社会福祉協議会 | ○木更津市社会福祉協議会が、第2期木更津市地域福祉計画(平成24～28年度)に基づく実施計画である次期地域福祉活動計画を策定中です。 | ○木更津市社会福祉協議会が、第2期木更津市地域福祉計画（平成２４～２８年度）に基づく実施計画である第２次地域福祉活動計画（平成２５～２８年度）を策定しました。 | ○木更津市社会福祉協議会が、第2期木更津市地域福祉計画（平成２４～２８年度）に基づく実施計画である第２次地域福祉活動計画（平成２５～２８年度）の実践に努めました。 |
| | ③地域のさまざまな社会資源の有効活用 | ○市内各地域のさまざまな公共施設や空き店舗など、障害のある人やボランティア・NPOの活動拠点としての社会資源の有効活用を図ります。<br>○地域に住んでいる、有資格者や知識・経験を有する市民の活用など、福祉人材の確保を図ります。 | 障害福祉課 | ○「ぷれジョブ」におけるジョブサポーターやサポート企業等の活用を図りました. | ○自立支援協議会の権利擁護部会を立ち上げ、各種団体より参加協力いただきました。<br>○公民館を「ぷれジョブ」のジョブサポーターやサポート企業等が活用しました. | ○「ぷれジョブ」におけるジョブサポーターやサポート企業等の活用を図りました. |

(案)